



林 声

2013

11 月号



熊谷認定こども園 (全景)



熊谷認定こども園 (建築中)



廊 下



保育室

平成25年3月、新見市上熊谷（旧熊谷中学校跡地）に新見市立熊谷認定こども園が完成しました。構造材の60%に新見産材、残り40%にも県内産材を使用しています。また、内装には木材をふんだんに使用しており、こどもたちが木材のぬくもり、暖かさを感じることができる施設となっています。

【施設概要】 延床面積669.77㎡ 木材使用量184.8㎡ 木造平屋建瓦葺 入所定員60名

目 次

森の大使活動報告	2	お知らせ	10
普及情報（東備支部）	3	技能講習会、イベント情報	11
これからの道づくり（入門編）①	4	林産物市況	12
普及情報（津山支部）	6		
研究だより	7		
おかやま森づくり県民税について	8		
岡山県みどりの大会を開催しました	10		



岡山県マスコット「ももっち」

おかやま森の大使活動中!

昨年10月からおかやま森の大使として濱田南(はまだみなみ・写真右)さんと佐々木曜子(ささきようこ・同左)さんが活動をしています。活躍の様子をほんの一部ですがご紹介します。(事務局)

**佐々木
曜子**

初めての大使として、初の活動は、100名近くの皆さまが参加する表彰式と植樹の司会進行でした。事前にシナリオを頂いていましたが、大勢の方々の前に立つ大役に、戸惑いと不安でいっぱいだったことが思い出されます。この日、担当の方からかけていただいた『1年後の佐々木さん

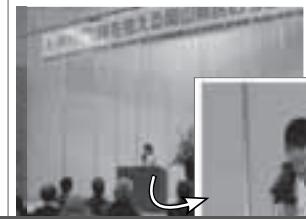
を、楽しみにしています』という言葉がとても印象深く残っています。今年も同じ行事で司会を務めさせて頂くことになり、昨年より成長した姿を見ていただけるように頑張ります。残り1年の任期ですが、森の大使として『森の大切さ・木の良さ』を伝えて行きたいと思っています!



**濱田
南**

東京から帰岡し「岡山らしいこと」を試してみたいと思っていました。おかやま森の大使の募集に出会いました。森づくり県民税、緊張のスピーチ、不安いっぱい司会など様々な行事に参加させていただきました。毎回スタッフの方々ははとも親切にしてください、いつも楽しく活動しています。

ます。森林、林業のスペシャリストの皆さんが、色々な思いで携わっていらつしやることをこの1年間、大使として活動して感じました。その職員、スタッフの方々の思いが、より多くの県民の皆様に伝わるよう、思いをつなぐ架け橋として、残りの1年間しっかり務めてまいりたいと思います。



森林を考える県民のつどい 2012.10.20
初の司会、大きな舞台に緊張です



第1回まにわ ふれあい木材まつり
2013.6.2
木製キックターゲットにも挑戦!



中国四国ブロック林業グループコンクール
2013.7.23 二人揃っての活動です
いろいろと勉強になりました



「県産材活用」UD整備事業 2013.2.14
審査会と完成式典に参加しました



岡山県二酸化炭素森林吸収評価認証書交付式
2013.8.21 みなさんの御協力に感謝です

おかやま森づくり県民税PR 6月・10月
県内あちこちで県民の皆さんにPRしました


緑あふれる環境づくり

 **株式会社 山都屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL.(086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園緑地施設・土木用資材
防蟻処理・ログハウス・デッキ

 **さんもく工業株式会社**

〒702-8245 岡山市南区新岸通7丁目6番3号
TEL. 086 262-0135代 FAX 086-262-0137

普及情報
『学校教育との連携を図り
森林環境教育を支援』
東備普及指導区



一 はじめに

岡山県立和気閑谷高等学校では、今年度、県産材を活用しUDを取り入れた施設を整備しようと、高校生自ら企画する「県産材活用UD事業」に応募するため、県産材についていろいろ教えて欲しい旨の要望がありました。また、和気町立日笠小学校からは平成23年度に和気美しい森を活用した「楽しく学ぶプログラム」について相談を受け、樹木の学習を提案し小学校の賛同を得た後、森林教室を毎年開催しており、今年度で3回目の開催となりました。

二 内容

(一) 岡山県立和気閑谷高等学校
高校生からは県産材に関する質問がでしたが、まず森林の話や岡山県の森林の状況等を説明しました。次にスギ・ヒノキの葉と木片を見てもらい手で触れたり香りを嗅いでもらいながら違いや特色について説明しました。また、県産材使用事例についても大型スクリーンで掲示し、理解してもらいやすいようにしました。

スギ・ヒノキの葉の区別ができない高校生がいたのは残念でしたが、木片については香りを嗅いで樹種を区別し、スギの方が柔らかい等の感想を話していました。また、地域の山にも興味がわいてきたようでマツ枯れのメカニズム等の質問が出ていました。



森林の状況等を説明

(二) 和気町立日笠小学校

樹種名を多く覚えてもらうのではなく、まず検索や分類に必要な基本的な用語を室内で理解してもらい、次に和気美しい森の散策路を歩きながら自然観察を行ないま

した。その後、室内に戻り小学生達で樹種の特徴を分類し、検索図鑑を活用し樹種名にたどり着くまでの学習に取り組んでもらいました。小学生はサンプル木の特徴を把握するときに悪戦苦闘しつつも、検索図鑑で樹種名までたどり着くことができ、自分で樹種名を見つけての喜びを感じてもらえたと思われま



この木の名前はなんでしょう

三 おわりに

森林・林業教育の推進は重点的に取り組む普及事項の一つであり、当普及指導区では今後ともあらゆる機会を捉え、森林環境教育の支援に努めていきたいと思

(林業普及指導員 近藤和夫)

安心と信頼の証を届けます

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

大久保体育株式会社

OHKUBO

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL(086)279-0585 FAX(086)279-0460
 ■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL(086)428-7576 FAX(086)428-6153
 ■東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-21-3 TEL(03)3863-0722 FAX(03)3863-0778

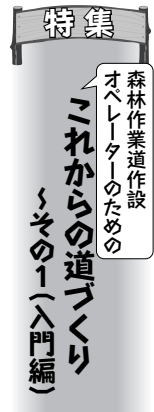
優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
 TEL 岡山(086)805-7033(代)



一 はじめに

森林資源の充実期を迎え、木材の伐採や搬出を効率的に低コストで行うために、高性能林業機械と森林作業道を組み合わせた「低コスト作業システム」の導入が重要となっております。

「作業システム」とは、木材生産現場における「作業」と「機械」と「人」との有機的な組み合わせであり、伐採から山土場へ搬出する一連の作業プロセスのことです。そして、これらの作業を繋ぐものが森林作業道であり、森林整備や木材の集材・搬出のため継続的に用いられることから、繰り返し使用に耐えられるよう丈夫で、地形に沿った線形とすることなどで作設費用を抑え簡易に作設することが求められています。

今回から3回にわたって、この丈夫で簡易な森林作業道の作設方法やその普及への取り組みを特集として紹介していきます。

二 作設の基本

森林作業道作設の基本は、地形や地質等を考慮して、きめ細かくカーブや道の勾配を設定し、できる限り切土・盛土高を低くし、切土量と盛土量を均衡させることです。全切の場合、地山が路体となり、堅固な道が作設できますが、残土が多く発生し、運搬や処理場の確保によるコストアップや、切土高が高くなり、崩れやすくなるなどのデメリットがあります。

通常、土砂の場合、切土勾配は6分程度で施工しますが、切高が低く、しっかりと土質であれば直切が可能な場合もあります。な

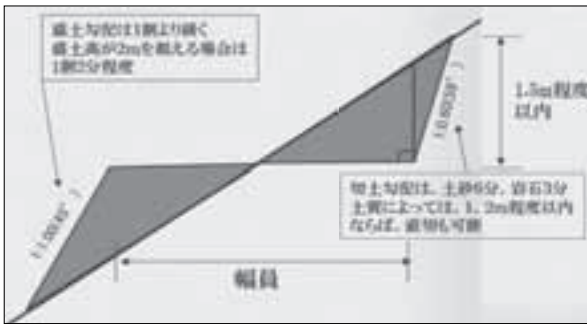


図-1 基本的な法高、法勾配

お、黒ぼく土やマサ土等の土質は崩れやすいので注意が必要です(図1-1)。

三 堅固な盛土を築く

森林作業道の災害発生事例で多く見られるのが、盛土の崩れで、主に3つの原因が考えられます。

1つ目の原因は、枝葉等の有機物を含む表土を残して盛土をしたことによるものです(図2)。表土を残しておくとも盛土と表土がなじまず、すべり面となり、車両の走行などにより亀裂が発生し、そこに雨水が浸入して盛土が滑り落ちます。このため、施工時には、すべり面となる表土を十分に除去することが必要です。

また、盛土の中に有機物を含む表土を混入させると、締め固めが



図-2 崩れる盛土のイメージ

十分にできないことやその分解により隙間が生じるため、表土は分けて管理します。

2つ目の原因は、盛土の基礎にあたる地山を階段状にカットする段切が施工されていないことによるものです。前述のとおり表土を除去しても、同様にすべり面が発生し、滑落に繋がるため、必ず段切により水平な基礎を作り、盛土を施工することが重要です。なお、根株を基礎代わりに利用したり、法尻の立木に支障木を横掛けしただけでは、盛土の崩れを防ぐことはできません。

3つ目の原因は、段盛による十分な締め固めが行われていないことによるもので、盛土が沈下して崩れてしまうものです。

これらの原因から、段切と段盛の施工は、図3のように①基礎部分を水平に掘削し、十分に締め固める。②切土で発生した土を基礎部の上に30cm位盛土し、バケツの背で押しつけて丁寧に締め固める。③階段状に次の段を切り、同様に土を盛り立て、締め固める。この一連の作業を繰り返して、徐々に路体を盛り上げていきます。この際、盛土面の勾配も意識しながら

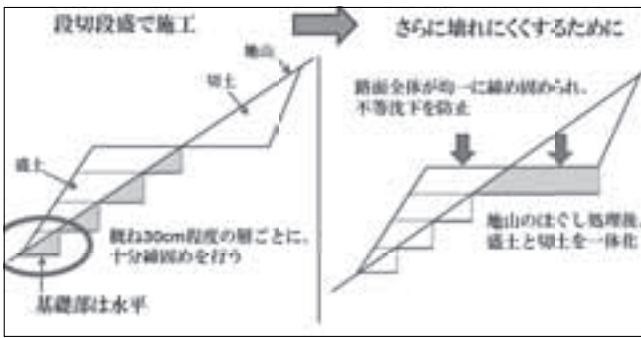


図-3 崩れない盛土の施工

施工し、45度以上急にならないように注意します。
 そして、路面まで盛り上げた後、バックホウの履帯とバケットの背を使い締め固めます。小型のバックホウの場合は、道に対して斜めにバックホウを前後進させ、路肩まで十分踏み込み、路面全体を転圧するようにします。大型のバックホウの場合は、斜め踏みが困難なため、バックホウを平行に前後進させ、路面の中央部をバケットの背で、バックホウの重量がかかるようにしながら締め固めます。また、盛土法面をバケットの背

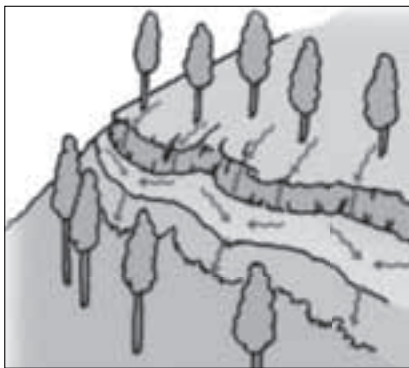


図-4 分散排水

でしっかりと転圧（土羽打ち）することにより、雨水等による浸食を防ぐことができます。
 さらに崩れにくい道づくりには、山側（切土側）の路体の一部を掘り起こし、はぐし処理を行った後に盛土と切土を一体化させ、路体全体を均一に締め固めることにより不等沈下を防ぐ作設方法もあります。
四 維持管理は排水対策が大事
 路面を雨水が流れると、一緒に土が流されて路面が荒れます。さらに、長い距離を水が流下すれば、路面は水路のように掘れてしまいます。これらを防止するためには、こまめに排水対策を行うことが大切なポイントとなります。
 最初の対策は分散排水です（図

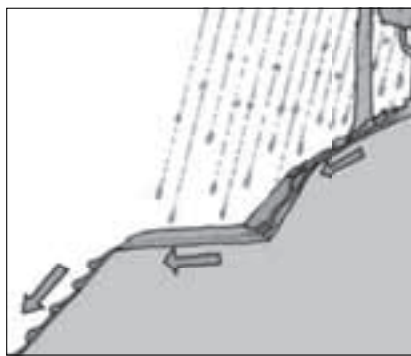


図-5 その場排水

4)。走行性に配慮しながら路面の縦断勾配を緩やかな波状線形とすることにより、短い間隔で路面外に排水します。
 このためには、路線選定の段階から、安全に排水できる箇所（尾根部や常に水のある沢部等）をあらかじめ把握しておく必要があります。
 次に、その場排水です（図-5）。横断勾配は水平が基本ですが、走行の安全が確保できる場合に限り、横断勾配の谷側をわずかに低く（外カント）することで、山側斜面からの流下してきた雨水を、その場で排水することができます。

なお、間伐等と一体的に施工する場合、最初から谷側を下げていくと、運搬車両が走行する際、転落の危険性があることから、森林



図-6 施業の流れの中で、横断勾配を変化

施業前・施業中は谷側を上げるか水平で作業を行い、施業後しばらく使用しない場合には、谷側を下げて現場から出るなど施業の各段階で横断勾配を変化させる方法もあります（図-6）。

なお、前述の方法が困難な場合は、丸太やゴム板などを利用した簡易な横断工排水施設を設置します。設置に当たっては、走行する機械の重量や足回りを考慮して種類や大きさ等を工夫する必要があります。排水先（路肩部分）には、盛土の決壊を防ぐため、石や根株等の水たたきを設置します。

（普及推進課 林業普及推進班）
 （その2に続く）

普及情報
『見える化団地』を活用
した間伐推進の取組
津山普及指導区



美作県民局では、「おかやまの森づくり間伐推進5カ年計画」推進のため、「見える化団地」を活用し、間伐推進検討会を開催しました。

「見える化団地」とは

昨年度から美作県民局独自の取組として、美作ヒノキ搬出間伐モデル団地「見える化」支援事業を実施しています。これは、間伐対象地を集約した「見える化団地」を設定して、路網密度、生産コスト等を把握整理し、効果を可視化（見える化）することで、森林所有者の施業意欲を喚起しようとするものです。

間伐推進検討会の概要

「見える化団地」の現地で、搬出間伐、作業道開設の作業方法、収支等を紹介し、討議する「間伐推進検討会」を開催しました。

市町村、森林組合、事業体等か



間伐推進検討会の状況
(森林組合による現地説明)

ら実務者が多数参加し、活発な意見交換がなされました。

〈第1回検討会〉

開催日：平成25年8月29日

場所（事業主体）：津山市上横野地内（津山市森林組合）、鏡野町羽出地内（作州かがみの森林組合）

参加者：39名

〈第2回検討会〉

開催日：平成25年9月25日

場所（事業主体）：美作市江見地内、西栗倉村影石地内（美作東備森林組合）

参加者：49名

〈第3回検討会〉

開催日：平成25年11月6日

場所（事業主体）：真庭市上河内地内（真庭森林組合）

「見える化団地」と取組みの概況

現地の状況や事業体の機械の保有状況、労務体制等に応じた取組みとなっています。

①津山市森林組合の団地

作業道を継続的に長期間使用することを目指し、間伐、搬出などの作業後に、路面排水のため、カーブ上部に土盛り横断排水施設を設置したり、谷を渡る箇所に掘り割りを施すなど、細かい施工がされています。次回の作業道の使用時に、最小限の修繕で済むように一手間かけていました。



谷渡りの処理例
(津山市上横野地内)

②作州かがみの森林組合の団地

スギが主体の林分であることから、コストの節減を重視し、必要最小限の作業道としています。作業の難しい急傾斜地等では列状間伐を組み合わせ、集材にリモコンウインチを活用して少人数労務とするなど、山主への収益を確保していました。

③美作東備森林組合の団地

森林GISを駆使した事業地情報の管理、ビジュアルな進捗管理が行われていました。

④真庭森林組合の団地

地区説明会の開催等により徹底した集約化が行われており、「見える化団地」15団地の中で最も収益還元できています。

また、バイオマス集積基地をはじめ、地域ぐるみの取組には、間伐推進の意気込みの波及が期待されます。

終わりに

従来は個々に実施されていた施業地を集約化して、効率よく路網を確保していこうという施策の方向性を捉えた努力が何われました。それぞれの山林や事業体毎の特性があり、事例をそのまま真似ることは出来ませんが、事業体相互の参考になることと期待しています。

(林業普及指導員

阿部剛俊・小川章子)

研究総ぶ

ヒノキ丸太の天然乾燥

森林研究所 木材加工研究室
専門研究員 小川 裕

ここで述べる「天然乾燥」は、未利用材、いわゆるC、D材など製材品に向かない木材を燃料用として利用するための含水率管理を意味するものとして使用しており、製材品に用いられている「乾燥」の概念とは少し異なっています。

製材JASに規定されている乾燥処理には、乾かすことは勿論のこと、製品としての品質（仕上がり等）を満たすことも含まれたものであるのに対し、燃料用のそれは、乾いていることに重点が置かれます。当然のことながら、JAS製品に用いられるような品質を考慮したものとは全く別の処理が可能となります。

さて、本題の燃料用としての乾燥ですが、真庭市で行われている木質バイオマス利用に関係するものについて、水分減少経過についての調査を行いました。

調査地及び調査方法は、真庭市内の月田地区及び目木地区にある集積基地において、皮付きヒノキ

丸太を一定期間置いて重量変化を記録していきましました。最後に丸太から試験片を採取し、含水率を測定して、得られた値と重量から、測定時の含水率を推定しました。

その結果を図1及び図2に示します。月田地区では、椀木の有無、屋根の有無について調査を行いました。条件の良い夏期では、順調に乾燥していきましたが、冬期では、逆に吸湿してしまう傾向が見受けられました。しかし、屋根を設置することにより、この現象が現れないことが、データとして得られました。

次に、目木地区では主に12cm下の材において長さ別、径級別の調査を行いました。6月から行った試験では、どの条件においても乾燥開始から1カ月程度で20%程度の含水率になり、その後は緩やかに乾燥する経過になりました。

一方、11月から開始した試験では、翌年の3月頃まで乾燥しないうか緩やかに乾燥し、その後は順調に乾燥する経過になりました。

真庭市内の燃料用木質チップ生産者は、生産されるチップの含水率が湿量基準で30%となることを目標にしています（乾量基準では約40%）。今回得られたデータでは、



写真 月田試験地における実際の乾燥状況

注：屋根の設置、椀木の挿入を行っている。試験は、これらのものをモデル化して行った。

目標値まで乾燥できていきましたが、季節によっては相当期間、乾燥処理を行うことが必要であることも明らかにになりました。

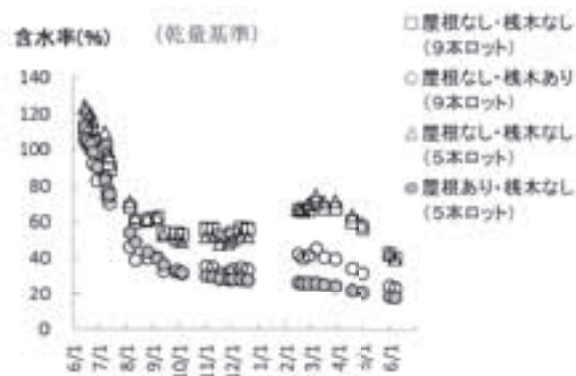


図1 月田試験地の含水率経時変化

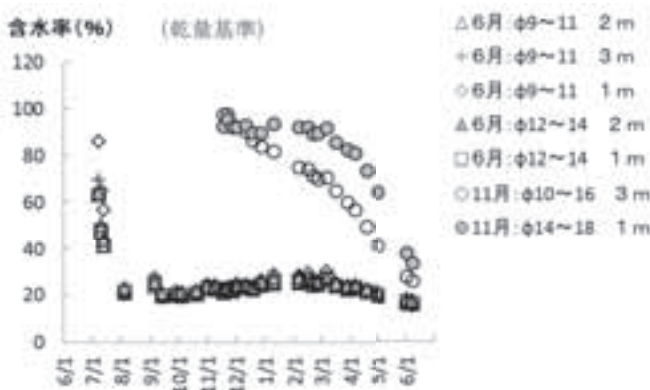


図2 目木試験地の含水率経時変化

以上のことから、ヒノキ丸太を燃料として利用する場合には、冬期のように乾燥しにくい期間には、例えば剥皮するなど、何らかの乾燥期間を短縮するための処理や工夫が必要であると考えられますが、処理を行う場合は、製品単価が安価なことから、処理経費はそれに見合ったものとして考えなければなりません。

今後は、これらの結果を踏まえて、水分量を十分低減した木質燃料を生産するための品質管理方法を確立したいと考えています。

「おかやま森づくり県民税」事業の導入効果について

県では、県民共有の財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、平成16年度からおかやま森づくり県民税を導入し、①公益的機能を高める森づくり、②担い手の確保と木材の利用促進、③各種情報の提供と森づくり活動の推進、の3つの柱に従って、森林の保全に関する施策を推進してきました。

本年度は、森づくり県民税の課税期間の最終年度であり、学識経験者等による岡山県税制懇話会において、事業効果の検証や制度の見直しについての検討が進められてきました。この中で、主な事業の10年間の成果（平成25年度は計画）が検証されましたので、概要を紹介します。

1 森林の持つ公益的機能を高める森づくり

(1) 健全な人工林の整備

ア 間伐の促進

- ・ 奥地林や放置林など著しく間伐の遅れた森林の間伐を促進するため、収入のない切捨間伐に限定して、国の造林補助事業に県民税を充当し、間伐を加速化。
- ・ 県民税により、10年間の間伐実績面積の31%に相当する奥地林等の間伐を実施。

ここ10年間の間伐実施状況

(単位：ha)

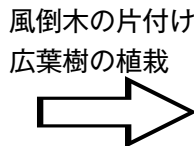
年 度	H16~H20	H21~H24	H25 計画	計
間伐計画面積	36,550	24,000	5,400	65,950
間伐実施面積	33,514	28,442	5,400	67,356
うち県民税関係	5,501	12,229	3,400	21,130
割合 (%)	16.4	43.0	63.0	31.4

イ 風倒木被害地の復旧

- ・ 平成16年台風第23号による風倒木被害地 5,483haのうち、森林災害復旧事業と連携して、2,271ha (41%) の被害木整理や跡地造林を早急を実施。
- ・ 風倒木危険箇所66haについて、二次災害防止施策を実施。



発生直後（公益的機能が一気に低下）

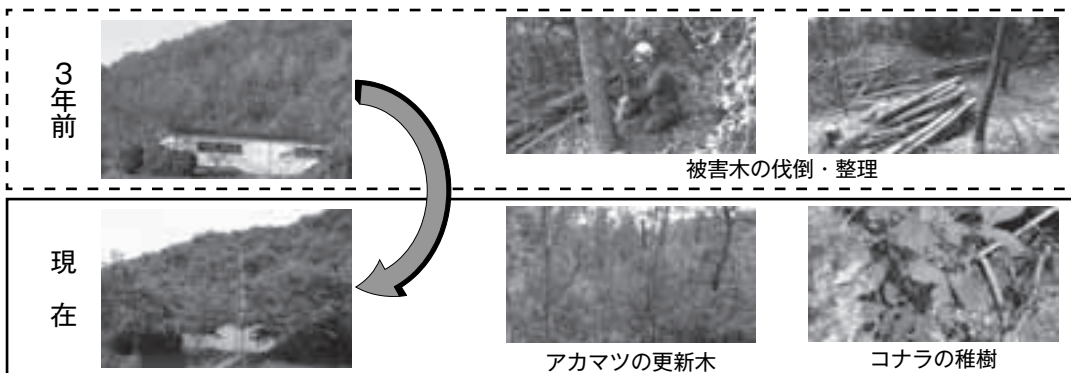


整備完了後（公益的機能の発揮に期待）

- 著しく間伐が遅れた森林を解消
- 国庫補助と連携して間伐を加速化し、公益的機能の早期回復を促進
- 風倒木被害地の早期復旧の実現、豪雨等による風倒木流出に伴う二次災害を未然防止

(2) 多様な森づくり（松くい虫被害林の再生）

- ・ 集落周辺の松くい虫被害地において、枯損した被害木を伐倒・整理し、不用木を除去することにより、林内の安全性を確保するとともに、広葉樹等への更新を促進。
- ・ 道路沿いや人家裏で倒木の危険性がある松くい虫被害木を除去し、危険箇所を解消。

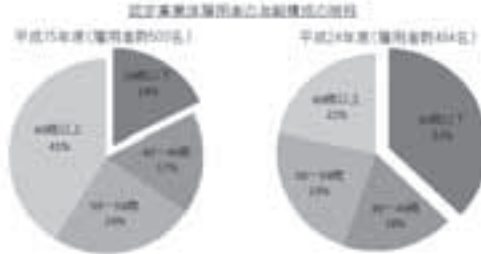


- 松くい虫被害地を自然力を活かして広葉樹林等へ再生
- 人家裏等での松くい虫被害木除去による地域住民の安全性を確保

2 担い手の確保と木材の利用促進

(1) 担い手の確保

- ・ 県内の森林整備を担う認定事業体が行う現場研修や就労環境改善を支援するとともに、新規就業者の定着を促進。
- ・ 林業に必要な専門的知識・技能を有する優秀な人材を育成するための専門研修を実施。



- 若い担い手の割合が増加
- これまで10年間に支援した184人のうち100人(54%)が担い手として活躍

(2) 木材の利用促進

- ・ 多くの県民が利用する公共施設や学校、福祉施設等における内外装の木質化や木製用具の導入などを支援し、県産材の需要を拡大。
- ・ 整備した施設の利用者4万6千人に県産材を使った快適な生活環境を提供。



- 間伐材約6万6千本に相当する県産木材(1,978m³)を利用、民間への波及効果を期待
- 森林・林業の大切さや、木材利用の良さを4万6千人にPR
- ヒノキの素材生産量日本一の実現(19.9万m³/H24 都道府県別木材統計)

3 森林・林業に関する情報提供と森づくり活動の推進

(1) 県民への情報提供等

- ・ 森林の働きや林業の役割、おかやま森づくり県民税を活用した取組等について、様々な広報媒体等を通じて情報発信。

(2) 森づくりのための人材養成、県民参加の森づくり

- ・ 森林ボランティアグループや地域住民、企業等による森づくり活動の開催支援、森づくり指導者の育成を通じて、県民参加の森づくりを推進
- ・ 保育のつどい等の活動に、のべ4万7千人の県民等が参加
- ・ 企業等の社会貢献活動としての森林保全活動を促進
- ・ 県民の自主的な森づくりを推進する「おかやま森づくりサポートセンター」の設立



- 県民や企業等による自主的な森林ボランティア活動が各地域で活発化
- 県民参加の森づくりを通じて、森林や林業の大切さなどの理解を醸成

これまで10年間にわたり、森づくり県民税を活用して森林保全事業を実施し、森林の公益的機能の維持・増進が図られてきました。しかしながら、間伐が必要な奥地林等や、松くい虫被害林等はまだまだ多く残されており、さらに、スギ林の成熟による花粉症の発生、放置された里山林の荒廃など、人々の快適な生活環境を確保するための課題も新たに生じています。

このような状況も踏まえ、税制懇話会では先般、「森づくり県民税は存続させることが望ましい」とする報告書が取りまとめられました。県では、その内容を精査し、県議会の意見も伺いながら、今後の方針を決定することとしています。

(林政課 普及指導班)

岡山県みどりの大会
2013の開催

秋のみどりの月間中になる10月5日(土)、赤磐市の「山陽ふれあい公園」において、「岡山県みどりの大会2013」を赤磐市、(公社)岡山県緑化推進協会との共催で開催しました。

この大会は「森づくり県民税」を活用し、みどりの大切さを楽しみながら学ぶことで、森林をはじめとするみどりを守り育てていく心を培ってもらおうと実施したもので、みどりの少年隊等の子どもたちや関係者ら約400名が参加しました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、雨に洗われたみどりの中、午前中は緑化運動・愛鳥ポスターコンクール表彰、いんべ緑の少年隊による活動発表、参



加者によるサザンカの記念植樹などが行われました。

午後からの「みどりわんぱく村祭」では、県森林インストラクター会、県キャンプ協会及び(公財)県環境保全事業団アスエコの指導のもと様々な自然体験活動や、地元赤磐市による特産品の販売が行われました。

パン生地を伸ばし、竹棒に巻きつけて炭火で焼く「へびパン」づくり、木の枝や実を使って思い思いに作る木工クラフト、自転車のペダルを踏んで自分でエネルギーをつくる自然エネルギー体験、そしてネイチャーゲームなど、子どもたちは雨にも負けず、元気いっぱい楽しんでいました。



この大会を通じて、子どもたちがみどりや自然に親しみを持ち、将来にわたって身近に感じてくれるよう願っています。

(環境文化部 自然環境課)

★お知らせ★

平成25年表彰行事受賞者の紹介

林業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(文中、団体指導者部門については、①主な役職、②主な功績。)(敬称略)

第46回岡山県農林漁業功労者表彰

《農林水産部長表彰【林業部門】》

○井原 利子(真庭市)

優良材生産を目指した林業経営において、木材搬出機械の操作など、現場作業に携わり、女性の参画推進に努めてきた。

また、地域の女性有志による「富原婦人林研クラブ」の設立当初から参画し、通算6年間会長を務めるなど、同クラブの活動活性化に尽力した。

○岸本 勝(奈義町)

山行苗木生産において、施肥の工夫等により、連作障害の防止や地力の維持増進を図るなど、優良苗木生産技術を実践してきた。近

年では、県が推進している少花粉スギの本格生産に向け、意欲的に取り組んでいる。

また、美作山林種苗組合の理事、豊並樹苗生産組合の副組合長を務め、生産者指導に努めるなど、地域の育苗技術の向上と優良苗木生産の推進に尽力した。

《農林水産部長表彰【団体指導者部門】》

○門田 宗治(岡山市)

①岡山水材協同組合副理事長

②組合員の技術力の向上と経営の近代化・合理化に尽力してきた。

また、岡山県木材仲買協同組合の理事長を務め、木材販売業者の消費者への信用の向上と地位確立に尽力した。

○森野 茂(高梁市)

①びほく森林組合代表理事組合長

②組合員の技術力の向上と経営の近代化・合理化に努め、平成22年の広域合併においても組合運営の健全化に尽力した。

また、岡山県森林組合連合会の理事として、森林組合事業の発展に尽力した。

(林政課 普及指導班)

技能講習会の開催(11~1月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	11月14, 15日・1月30, 31日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け(未経験者対象)	岡山	11月7, 8日・12月5, 6日 1月23, 24日	
木材加工用機械作業主任者	津山	11月25,26日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 221-2160
移動式クレーン運転士		11月7日	中国四国安全衛生技術センター TEL (0864) 954-4661
はい作業主任者	岡山	11月13,14日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
11.2 (土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町)	保育のつどい (除伐)	井原市森林組合 TEL: 0866-72-0161
11.16 (土) 9:00~15:00	備中松山城・臥牛山	備中高梁トレイル(中国自然歩道 を活用したエコトレイル)	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL: 0866-22-1000
11.17 (日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第163回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
11.21 (木) 8:30~17:15	高梁川流域(倉敷~総社~ 高梁~新見~成羽)	河川の利活用を学ぶ~水の循環と 恵み~水門・水力発電・酒蔵の見 学など	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL: 0866-22-1000
12.7 (土) 10:00~15:00	長船美しい森 (瀬戸内市長船磯上)	保育のつどい(除伐・間伐・シイ タケ植菌体験)	岡山森林組合 TEL: 0867-24-0200
12.7 (土) 9:30~	倉敷市酒津地内	森林整備 (除伐、植栽)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
12.7 (土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町)	保育のつどい (間伐)	井原市森林組合 TEL: 0866-72-0161
12.14 (土) 9:00~15:00	おかやま共生の森・柵原 (久米郡美咲町書副)	保育のつどい (広葉樹林整備, ミニ門松づくり)	久米郡森林組合 TEL: 0868-66-0053
12.14 (土) 10:00~12:30	臥牛山山麓	探鳥エコハイク(冬の野鳥を観察 しながらエコハイク)	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL: 0866-22-1000
12.14 (土) 13:00~16:00	森林研究所木材加工研究室 (真庭市勝山)	木材学習講座 (研究紹介、木工体験)	森林研究所木材加工研究室 TEL: 0867-44-3367
12.15 (日) 9:00~12:30	櫛の杜 (井原市門田町)	櫛の杜塾・第164回杜の市 (特産品の販売など)	櫛の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL (0866) 62-8614
12.21 (土) 9:30~	真備美しい森 (倉敷市真備町市場)	竹林整備 (門松作り)	倉敷地域森づくりの会 TEL (0866) 92-5600
12.21 (土) 13:30~15:30	高梁市文化交流館 (高梁市原田北町)	備中高梁フィールドミュージアム シンポジウム	NPO 法人フォレストピープル岡山 TEL: 0866-22-1000



林産物市況



木 材 (10月16日)

単位：千円/m

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り				
杉	3m	14～16	11	-	7	檜	3m	14～16	22.5	-	19	-	
		18～20	11.5	-	7			-	18～20	21	-	19	-
		22～24	10	-	7			-	22～24	20.5	-	18	-
	4m	18～22	10.5	-	8.5		-	4m	14cm	20	-	12	-
		24～28	11	-	8.5		-		16～18	23	-	20	-
6m	18～20	13	-	6	-	20～22	21.5		-	18	-		
松	3m	16～20	13	-	10	-	24～28		21	-	18	-	
	4m	16～20	10	-	8	-	30cm上	18	-	15	-		
・出荷材積 約 2,000 m ³ 記号 △ 強気配 - 横ばい ▼ 弱気配					檜	6m	14cm	23	-	10	-		
(共販所より概況) スギ：欠点材は売りにくい。 ヒノキ：3m 14～16cmは強含み。 全体的に横ばい状態が続いています。							16cm	32	-	28	-		
							18～20	33	-	28	-		
							22cm上	25	-	15	-		

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (10月中旬)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000～58,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000～58,000	
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	65,000～68,000	
	正角 3m 12cm 角	特等	K	60,000～65,000	
マツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	60,000～	
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm 角	特等	G	54,000～	
	平角 3m, 4m 10.5×15～21cm	特等	G	54,000～55,000	
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000～75,000	
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	58,000	国内挽

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

『もしもの為に備えましょう』 森林国営保険 岡山県森林組合連合会

異常気象で気象災の発生が心配されます。
大切な森林を守る、森林国営保険への加入をお勧めします。

間伐加入 (3年30%) ヒノキ 0.1ha 30～50年生

保 険 料 750円～ 1,050円

保険金額 90,000円～135,000円 (全損の場合)

〈岡山県の保険金支払い実績〉

H16 台風被害	約 6 千件	約 27 億円
H21 干害ほか	135 件	2,245 万円
H22 水害ほか	149 件	2,675 万円
H23 水害ほか	68 件	1,045 万円

FOREST INSURANCE

森林 国営保険



加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で7千万円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと21,225円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと37,375円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約350円

わずか缶ビール
1本分

1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課 電話番号 086(226)7455 (直通)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
開伐材を有効利用した環境緑化資材です。

土間と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 開伐材利用緑生マット工法「森樹部(シンキロウ)マット工法」

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用(空中散布・地上散布)ができる

スマパイン® 乳剤・MC

樹幹を密着させ防止効果抜群

モリエート® SC・MC

ナラ松れ予防剤同時噴注剤

ウッドキング® SP

伐倒木用くさね殺菌剤

キルパー® 40

伐倒木用剤

パインサイド® S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー

お問い合わせは最寄りの県民局・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 取(06)6305 5871

平成二十五年十一月一日(第四三三二号)
(隔月一日発行)

編集発行
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



CT-500B GP-532
高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化


募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

 寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会
岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

(野生獣類忌避剤) コニファー水和剤 (幼合樹保護カバー) くわんたい
(樹皮食い防止に) パークガード (野生草食獣食害防止) 防獣ネット
(タズ専用除草剤) サイトロン・サイトロンフレノック・ケイヒンエース
(樹幹注入剤) マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは嵯森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事物大阪営業所
TEL：06-6231-2819



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)

